



平成 24 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 松 井 政 彦
(J A S D A Q ・ コード 8 7 0 5)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 総 合 管 理 部 長 小 崎 隆 司
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 2 月 10 日付当社「平成 24 年 3 月期通期（連結・個別）業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期連結業績予想の修正等

通期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	6,130	318	209	1,020
今回修正（B）	5,073	1,231	1,234	2,579
増減額（B - A）	1,057	913	1,025	1,559
増減率	17.2%	-	-	-
（ご参考）前期実績 （平成 23 年 3 月期）	6,573	833	895	1,165

修正理由

当連結会計年度のわが国経済は、当初の東日本大震災による鉱工業生産の落ち込みが解消されるにつれ、米国向けを中心に輸出が持ち直すなど回復傾向が強まりました。震災復興をたどるなかで、雇用情勢には厳しさが残るものの、個人消費も持ち直しの動きが見られました。

このような経済状況の中、当社グループの中核事業である商品取引関連事業では、受取手数料が、主力である貴金属市場において、前年同期に比べて減少したことなどから、4,263 百万円（前年同期比 73.3%）となる見込みであります。その一方で、売買損益は、貴金属市場におけるディーリングでの利益があったことなどにより、163 百万円（前年同期比 148.9%）となる見込みであります。当初予想には届きませんでした。これらにより、営業収益は 5,073 百万円（前回予想比 82.8%）となる見込みであります。

一方、営業費用につきましては、人件費の減少などにより、6,305 百万円（前回予想比 97.8%）となる見込みであり、前回予想を下回る見込みであります。営業収益の落ち込みを埋めるまでには至りません。この結果、連結営業損失は 1,231 百万円となる見込みであります。

このほか、本日（平成 24 年 5 月 15 日）別途公表しております「営業外費用、特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、貸倒引当金繰入額・訴訟損失引当金繰入額等の営業外費用および特別損失を計上したことなどから、連結経常損失は 1,234 百万円となり、連結当期純損失は 2,579 百万円となる見込みであります。

なお、貸倒引当金繰入額 547 百万円については、連結子会社における海外投資関連事業の債権に対して引き当てられたものであることから、平成 25 年 3 月期において、債権回収が確認され次第、貸倒引当金戻入額が特別利益として計上されることとなります。

2. その他

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、市場環境の変化など様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上